

東方

磁眼

絵巻

其の肆

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



其の参のあらすじ

ルーミア、チルノが行方をくらまし、心配するミスティアとリグルであったが、ミスティアにはお店に来たお客に情報を聞いて欲しいと言い残して、リグルは再び一人で探しに行ってしまう。

一人になったのを確認した男は催眠眼(さいみんがん)を手に、店の扉を開けてすぐにミスティアを催眠状態へと堕とした。

暗示によって自分が体を使った新メニューが、人里でも通じるか試してもらおう為に男を呼んだと思い込んだミスティアは、次々と男に料理を試してもらおうことにする。

ミスティアの体を存分に堪能した男は、ミスティアに催眠眼を使わせてリグルを催眠状態へと堕とした。

最後の狙いであるリグルへ、ついに男の手が伸びるのであった……。



あ…れ？

どこだろう
ここ…？

ミステイアの
お店じゃない
みたいだけど…

ぽち。

とにかく一度
確認しないと!!

なに…これ…!?

え…？

!?

何で私…裸で…？
それにこれは後ろで
縛られている…!?

いったい何故？

誰がこんなことを？

混乱してたって
何も分からない
んだから…

いや違う！

まずは落ち着か
なきやダメだ!!

思い出すんだ!!

そこでミステイアが
持った変な道具から
妙な光を見せられた…

見たのは一瞬だったけど
私はあの道具をどこかで
見ている気が…？

確かルーミアとチルノの
居場所が分かったって聞いて
ミステイアのお店に話を
聞きに行ったんだ



嫌な感じがしたから
あの時は追いついた
けど…



そうだ！

確かあの時近付いてきた
気持ち悪い男が持っていた
はずだ！！



やっぱり私は
正しかったんだ！！



あの男の！！



それなら
この場所は
もしかして…





おっ?

なんだ起きてる
じゃねえか!



おっい

まだ
眠ってんのか?!



フン!

誰があんたなんかを
喜ばせるものか!!



起きてるのに
悲鳴の一つも
上げないとはな

お前には
羞恥心ってのが
ねえのか?



それなら早々に
種明かしといこうか

種明かし?



ははは

この状態でよくも
それだけ強がれる
もんだな

お前には
ミスティアを使って
催眠術を掛けたのさ

催眠？

まあ安心しろ
催眠といってもお前への
暗示は能力を封じること
意外に大したことはしてない

私はって…
他の三人は無事
なんだろうな!!

今はまだな…
だがその先は
お前次第だ

それって
どういう…

なあゝに
お前には大した
催眠をしてないって
言っただろ？

ふぎけるな!!

こんな縛られた状態で
他の皆を人質にするような
卑怯者と勝負もクソもあるか!

だから俺と
勝負をしようか？

勝負？

その勝負に勝ったら
お前はもちろん他の
三人も全員解放してやる



そーいや縛った
ままだったか

もう動かして
いいぞ?



お前どこまで
馬鹿に——!!



えっ?

なん…で…?

プル

プル



さっきまでは確かに
縛られてたのに…

ポタン



俺と勝負を
してもらおうか

アッ



催眠術をかけたって
言っただろ?

お前は最初から縛られてると
思い込まされていただけなんだよ

これが…
催眠術…?

それじゃ
改めてだが

びる



冗談じゃ
ない!!



こんなことが
出来る相手との
勝負なんて

私が絶対に
勝てない不利な
勝負に決まってる!



なら勝負内容は
お前が決める

は?



その証拠に!



今のお前は
自分の意思で
俺に歯向かえてる
じゃないか

...



最初にも言ったが
能力を封じる以外に
お前には大した暗示を
してない



なら本当に
私と勝負をする為だけに
こんなことを?



確かに：
考えてみればそもそも勝負を
するメリットがこの男にはない

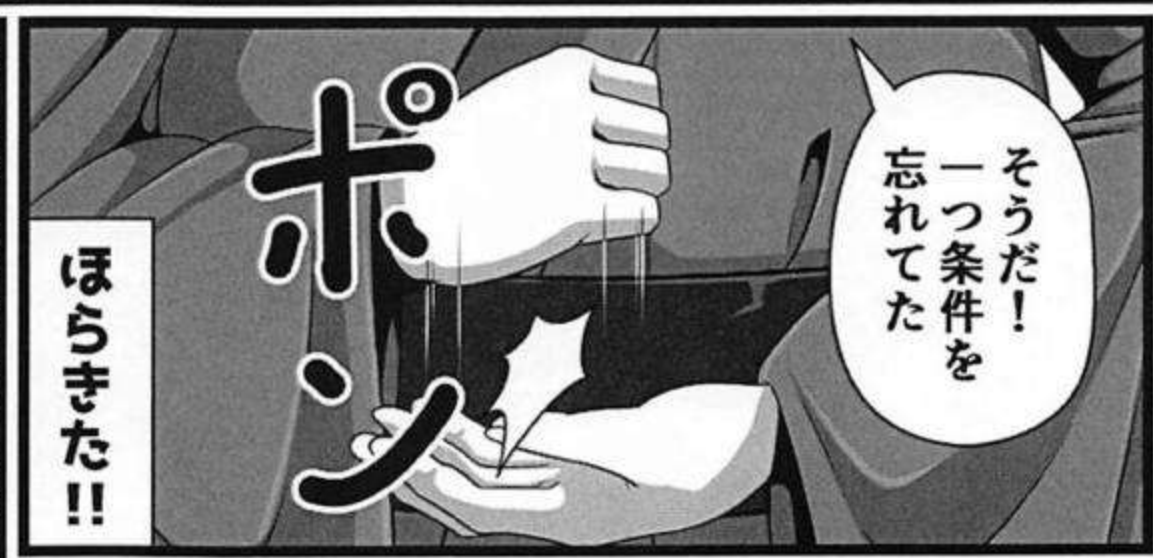


いや油断するな私
きつとまだ何かあるはず!!

最初から無いものがあると
思い込ませられるなら私を
どうとでも出来たはずだし…



はあっ!?



ほらきた!!

そうだ!
一つ条件を
忘れてた



勝負内容は人間の
俺でも出来るもので頼む



そんな驚くこと
じゃないだろ？

妖怪と人間じゃ
やれることが違い
過ぎるんだから



本当に…
それだけ…？

ああ

本当だとも

一体何を考えている？
それなら私の方が有利な勝負を言えば
この男は不利になるだけなのに…

いや、それでも警戒は
怠らない方が良く



だから考えなくちゃ…
有利なだけじゃなくて
私が絶対に勝てる必勝の
勝負内容が何かあるはず！

人間でも出来るけど
妖怪と人間の違いのように
あいつと私で絶対に違うところ…
それを勝負に組み込む!!

そうだ!!

まだ経験がなくて
やったことはないけど
あれなら…勝てる!

あるじゃないか
決定的に違うところが!

決めたよ

勝負内容は
単純明快!

セックスをして
私が絶頂したら
あんたの勝ち!!

絶頂^イかなかったら
私の勝ち!!

これで
勝負だ!!

セックスは好きな人
同士でやらないと
気持ちよくなれない



それなら私が
絶対くことは
絶対がない!

おいおい
本当にそんな
勝負で良いのか!?

もっと慎重に
考えてた方が
良くないか?

ふふん焦ってる焦ってる
絶対に勝てないってこの男も
理解してるんだな



私が自分で考えられる
ようにしたことを後悔
させてやる



なら仕方ない
その内容に従おう



駄目だね
この勝負方法以外は
絶対に認めないよ



もちろん
約束は守るさ



今ならまだ
ギブアップを
認めてあげるよ

自分で考えた
勝負内容だけに
かなりの自信だな

ならお前が
負けた時は覚悟
してもらおうか

無駄な心配だね
私はギブアップなんて
絶対に言わないから

そんなことより
私が勝ったら約束は
守ってもらうからね

それじゃ
すぐに勝負の
準備をしよう





最後に確認するが
勝負内容は変更しなくて
良いんだな？

今更何が
言いたいのか？

怖気づいたのなら
ギブアップすれば？



それこそ冗談だな
この時を楽しみにしてたんだから
何があっても止める気はないさ

なら精々無様な姿を
私の前に晒す事だね

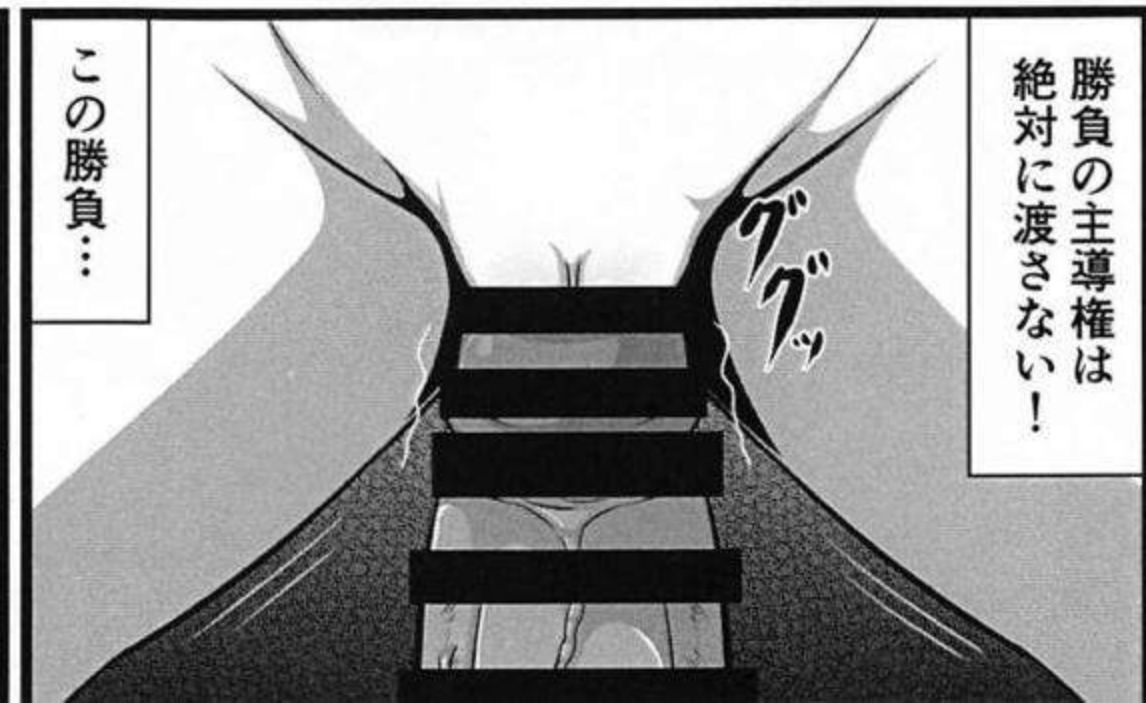
こっから先は
お願いされても
止めてあげないから！

私の迷いを狙ってる
みたいだけど無駄な
時間稼ぎだね！！



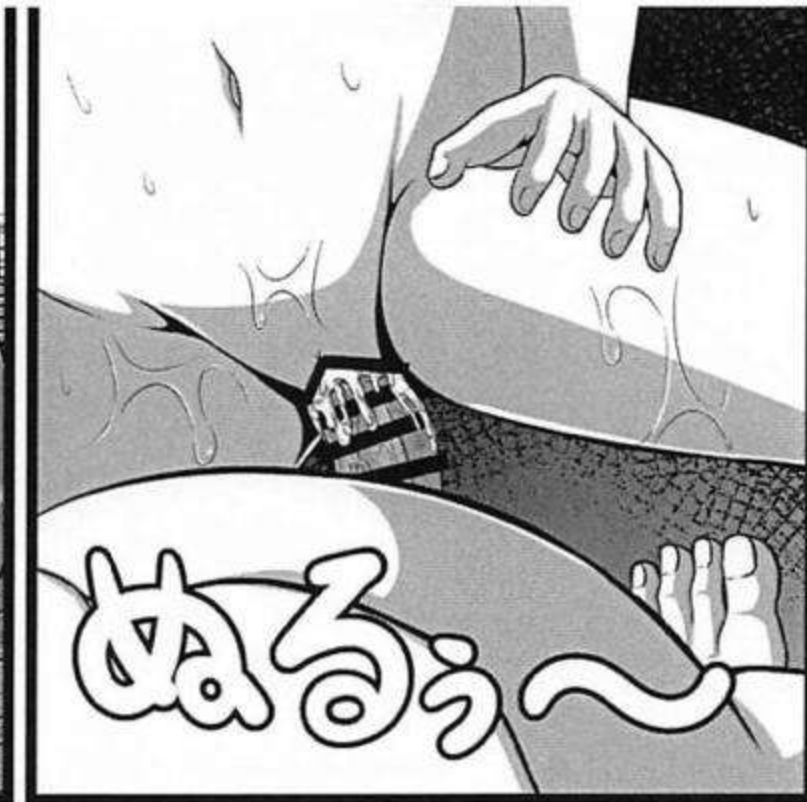
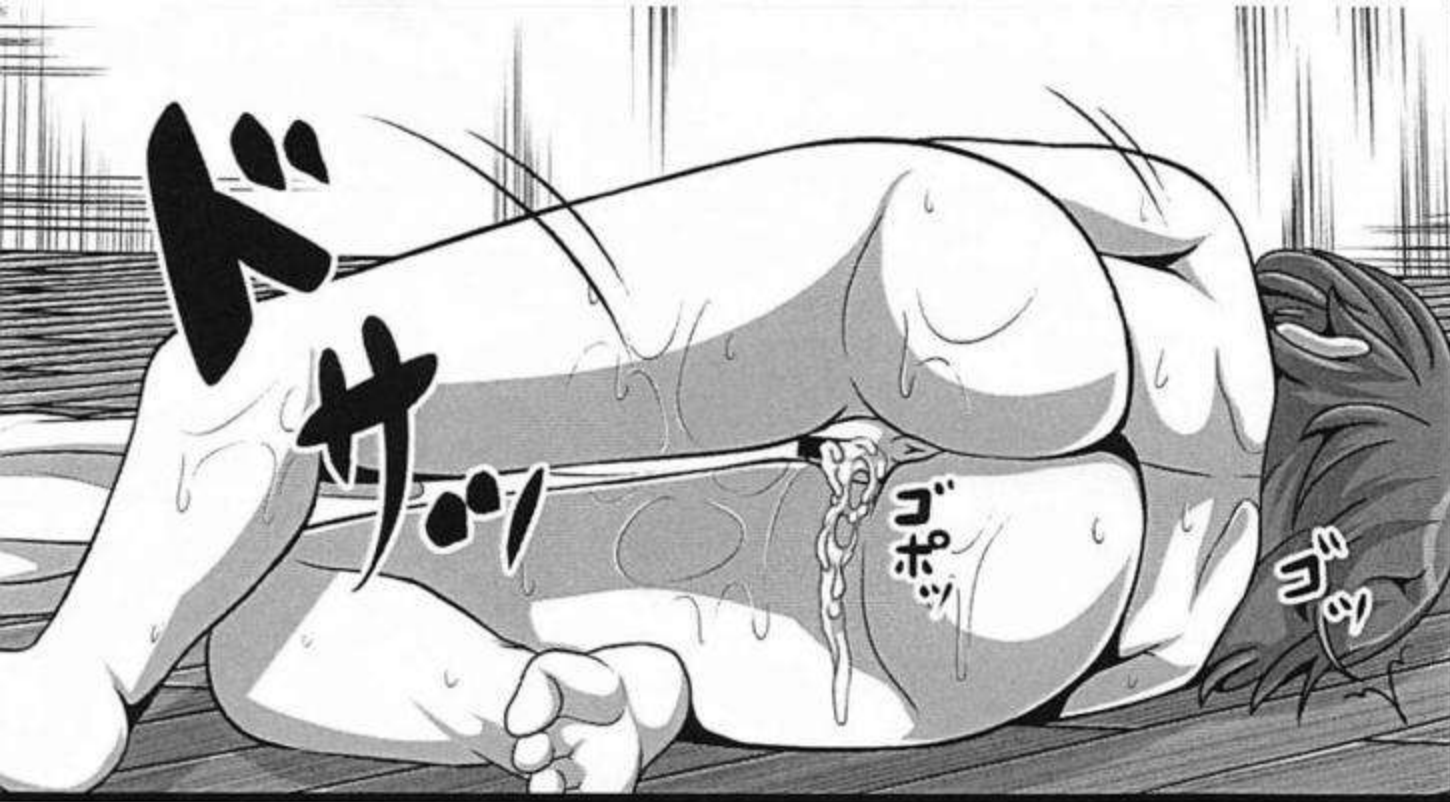
私の勝ちだ！

この勝負…



勝負の主導権は
絶対に渡さない！









ごほっ...

なに...が...



ゴホッ!

ゲホゲホッ!!



何が...じゃねーんだよ

え?

お前は勝負に負けたんだよ!



だが...勝負は勝負だ



自分で考えた勝負のくせに無様に気絶までしやがって

カタカタ

これまでの中で一番最低のクソ雑魚マンコだったぞ

嘘...だって私...

なんで...

ガクガク



覚悟は出来てるんだろうな?

ヒッ!



だから今のは無しで
もう一度勝負を…!!

だって私が
負けるはず
なかったんだ!!

これは何かの
間違いなんだよ!



あの…

ん?

さてと…
まずは何を
して
もらおうか



今からお前が
自分の体を使って
俺を満足させることが
出来たら考えてやるよ

満足って…
どうすれば…?

それくらいは
自分で考えろ!



散々俺を馬鹿にする
態度をしていたのに

随分とお前にとって
都合の良い話だよなあ



でもまあ
あれで終わりじゃ俺も
物足りないと思っただ
ところだ

じゃあ!



ブル

ブル

...

ズッ



ど…どうぞ
たったの一突きで
絶頂ってしまうような
クソ雑魚まんこですが…

こんな穴で良ければ
満足するまで何回でも
好きにお使い下さい…

ブル

ブル

はあ♡

あがつ!

馬鹿かてめえは!!

だって…
他に何も…

ぶっやん



どうするかは
お前次第だがな



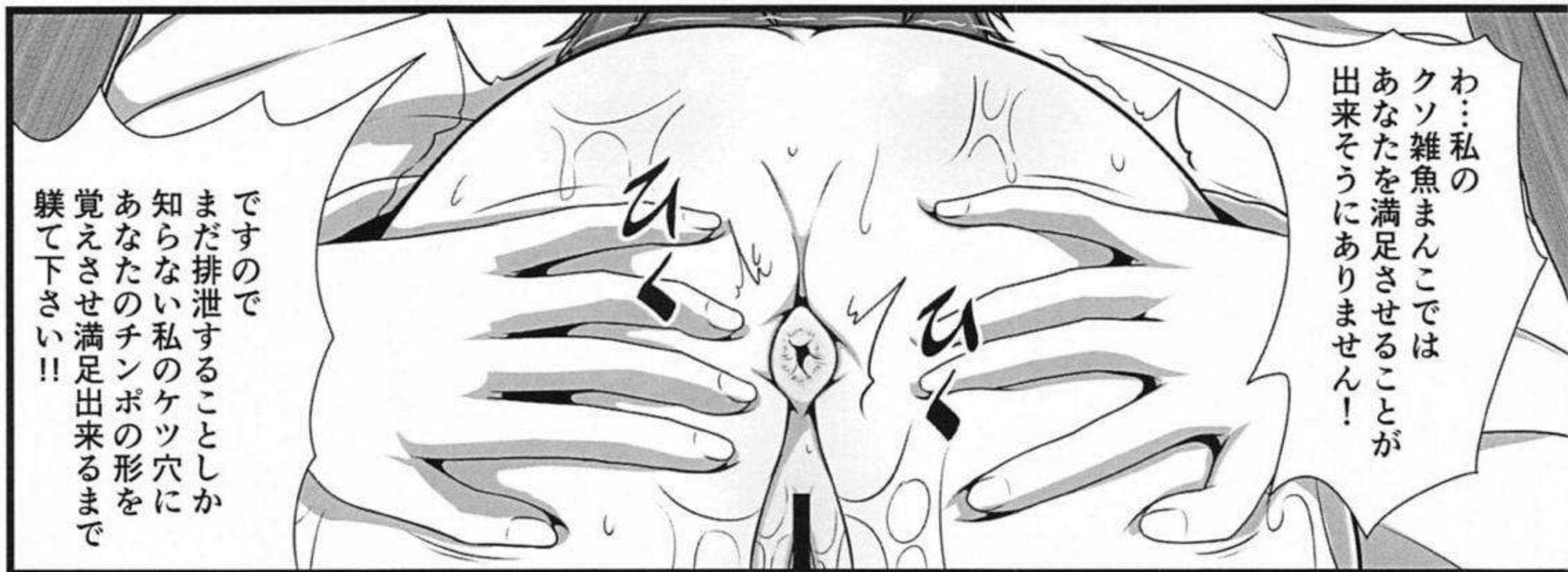
…分かったよ

それとも
他に何か
案があるなら
聞いてやるぞ？



あるじゃねえか
もう一つ使ってねえ穴が

それ…って…!?



わ…私の
クソ雑魚まんこでは
あなたを満足させることが
出来そうにありません！

ですので
まだ排泄することしか
知らない私のケツ穴に
あなたのチンポの形を
覚えさせ満足出来るまで
寝て下さい!!



そこまで
言われちゃったら
仕方ねえな

ブル

うう…



んぐういいい!!



ひぐう!!

んおっ!!

おっ!!



まだ挿入した だけなのに

ずりゅ〜



気絶すんじゃないや ねえぞ!

ぱん♡

私はただ… 皆を見つけて 助け出したかった だけなのに!!

何で私がこんな目に 遭わなくちゃいけないの!? 私が何をしたらって言うの!?



ぱん♡

は。ん♡

ぱん♡

ぱん♡

誰か…助け…て

うっ…

ぐすっ…

それから朝飯を作らせ
俺の一日が始まる

今日は
この卵を使って
朝食を作らせて
いただきますね

にゅるっ〜♡

だが…

さすがに
お前らだけじゃ
飽きるわ

分かりました
ご主人様♪

だから
次の相手は
お前が連れてこい

男の魔の手は
これからも伸び
続ける…

あとがき

この度は催開発の発行六冊目となる『東方催眠絵巻 其の肆』のご購読ありがとうございます。

今作は男との行為に至るまでが長くなってしまったこともあり、最初から全裸で描かせていただきました。

前作の最後で催眠にかけている流れを作っていたので、今回は催眠暗示をかけている描写がない為に催眠感が薄くなっていますが、自分が負けることしかない不利な勝負を挑んで無様に敗北というのが描けて個人的には満足です。

この流れはCG集でも一度描いてるんですが、やっぱり好きなシチュエーションなので色々なキャラで見たいんですよ♪

さて、今作で話が繋がっているシリーズとしての東方催眠絵巻は完結となります。

一応前作を知らないでも読めるようにと作ってはいたのですが、あらすじで1ページ使っちゃうのが勿体ないなと思っていたのと、今までの流れを入れる関係で本文で描けるものが狭まっていたというがあるので、次からはタイトルを変えるか、タイトルそのままに〇〇編みたいに付け足すかで、一冊の中で話が完結出来るようなものを何か描ければと思っています。

では、今回はこの辺で。
また次回がありましたら宜しくお願い致します。

奥付

- タイトル- 東方催眠絵巻 其の肆
- 発行日- 2021/12/30
- 発行- 催開発
- 発行者- ラクリア
- pixiv ID- 42130
- twitter- @rakuria
- pawoo- @rakuria
- 印刷所- ねこのしっぽ様-

- 本書の18歳未満(高校生含)の購入及び、閲覧を禁じます。
- 本書の無断複製、複写、転載及び、無断アップロードを禁じます。
- ※本作品は上海アリス幻楽団様『東方Project』の二次創作作品です。

磁

開

券